

タイヤ交換時の注意(車輪脱落事故対策について)

大型車のホイール・ボルト折損等による車輪脱落事故が増加しており、とくに冬期(10月～2月)に多く発生しております。

車輪の脱落は、路上故障や他の交通の妨げとなるばかりでなく、歩行者や他の車両の乗員の命に係わるなど、場合によっては重大事故を引き起し、社会的信頼を損なうことにもなりません。

ポイントは、車輪脱着作業後1ヶ月以内に多く発生し、車輪脱落箇所は左後輪に集中しているところですので、改めてタイヤ交換時は十分注意願います。

安全確保のために日常から、正しい点検・整備の実施をお願いいたします。

車輪脱落を防ぐ、4つのポイント！

- ・確実な締め付け → 規定トルクで確実な締め付け(下記)
- ・増し締めの実施 → 50～100km走行後に確実な増し付け
- ・日常の点検 → 一日一回の日常点検
- ・ホイールの履き替え → ホイールに適合したボルト、ナット

ホイールやホイールボルト・ナットの錆に注意！

ホイールやホイールボルト、ナットの著しい錆によると思われる車輪脱落が発生しています。著しい錆のあるホイールやホイールボルト、ナットは交換してください。

<小平産業製トレーラのホイールナット締め付けトルク数値一覧>

●ISO 10穴

メーカー名	車輪 メーカー	締め付け方式		締め付けトルク(N・m)			ナット2面幅	
		ウェット	ドライ	550～600	600～660	600～680	33mm	32mm
小平産業	ソーシン	○		○			○	
	ベンツ		○		○			○
	HEND RICKSON		○			○	○	
	BPW		○		○		○	

●JIS 8穴

メーカー名	車輪 メーカー	締め付け方式		締め付けトルク(N・m)			ナット2面幅	
		ウェット	ドライ	540～590	600～660	600～680	33mm	32mm
小平産業	ソーシン	○		○			○	

事業者、ドライバー、整備工場の皆さんの協力をお願いします。

夏冬タイヤ交換後の 大型車の車輪脱落事故に注意!

～大型車の車輪脱落事故を防ぐ新しい「お・ち・な・い」～

お

とさない!
脱落防止はまず点検。

事前の正しい点検が大きな事故を未然に防ぐ
唯一かつ最善な手段です。

ち

ちゃんと清掃、ちゃんと給脂!

ナットとワッシャーとの
隙間への注油も忘れずに!

な

ナット締め、トルクレンチを必ず使用!

適切なトルクを
設定して締め付けます。

い

ちにち一回、緩みの点検!

インジケーターの緩み点検
方法は下記のとおりです。

タイヤ交換などホイール脱着時の不適切な取り扱いによる 車輪脱落事故が発生しています!

タイヤ交換作業にあたっては、【車載の「取扱説明書」】や【本紙表面に記載の「車輪脱落を防ぐ4つのポイント」】、

【下記の「その他、ホイールナット締め付け時の注意点」】などを参照の上、正しい取り扱い(交換作業)をお願いします。

※ホイールナットの締め付けは、必ず「規定の締め付けトルク」で行ってください。
※ホイール取付方法には、JIS方式とISO方式の2種類があります。それぞれ正しい
取り合い方法を正確にたて、適切なタイヤ交換作業の実施をお願いします。

※ホイールナットの締め付け不足、アルミホイール、
スチールホイールの取り合いミス(誤組み付け、部品の混同)

その他、ホイールナット締め付け時の注意点

ホイールボルト、ナットの 潤滑について

ホイールボルト、ナットのねじ部と、ナットとワッシャーとのすき間にエンジンオイルなど指定の潤滑剤を薄く塗布し、回転させて油をなじませます。ワッシャーがスムーズに回転するか点検し、スムーズに回転しない場合はナットを交換してください。ナットの座面(ディスクホイールとの当たり面)には塗布しないでください。



ナットとワッシャーとの注油も忘れずに!

ディスクホイール、ハブ、ホイールボルト、ナットの清掃について

ディスクホイール取付面、ホイールナット当たり面、ハブ取付面(ISO方式では、ハブのはめ合い部)も、ホイールボルト、ナットの錆やゴミ、泥、追加塗装などを取り除きます。



ホイールナット締め付け時の注意点!

ホイール締め付け方式

ホイールの締め付け方式には、球面座で締め付けるJIS方式と、平面座で締め付けるISO方式があります。また「排出ガス規制・ポスト新長期規制適合」大型車から、左右輪・右ねじとする「新・ISO方式」を採用しました。

ISO方式(8穴、10穴)			
ホイールサイズとボルト本数(PCD)	10.5インチ: 8本(PCD275mm) 22.5インチ: 10本(PCD335mm)	ホイールのセンタリング	ハブインロー
ボルトサイズ	M22	アルミホイールの取付替え	ボルト交換
ボルトサイズ ねじの方向	左右輪: 右ねじ(新・ISO方式) 右輪: 右ねじ 左輪: 左ねじ(従来のISO方式)	後輪ダブルタイヤの 締め付け構造	平面座 ホイールナット (従来の)
ホイールナット 使用ソケット	平面座(ワッシャー付き): 1種類 33mm(従来のISO方式の一部は32mm)		
ダブルタイヤ	一つのナットで共締め		

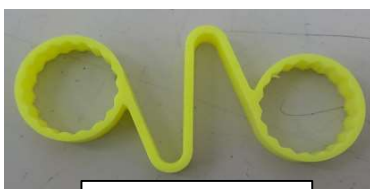
詳しい情報は、日本自動車工業会HPをご覧ください。 http://www.jama.or.jp/truck-bus/wheel_fall_off/



※締め付け方式『ドライ方式』の場合は、潤滑剤を塗布せず締め付けをする方式ですので油分は厳禁です。

日常点検の負担軽減としてナットの緩みが目視でわかるインジケータのご案内をさせていただきます。

- ナットの締め付け力が大幅に低下するとナットが回転し始めインジケータが変形しますので目視で確認できます。
- 点検ハンマーによる打音点検と同等に緩みを検出可能
- インジケータの正しい使用方法は、下記弊社の部品販売・修理担当まで問い合わせ下さい。



インジケータ



緩み無しの状態



左右のホイール・ナットが緩んだ状態

この点検用具(インジケータ)はあくまで補助用具です。
機能を過信せず日常点検・整備の実施をお願いします。

※インジケータは弊社部品課より購入可能ですので下記へ問い合わせください。

小平産業株式会社 部品販売・修理 TEL 0285-23-6297